

平成29年度 健康寿命延伸プロジェクト優良事例表彰団体・企業

※賞	※団体・企業名	※活動および取組内容
<p>最優 秀賞</p>	<p>地域部門</p> <p>【介護予防】 絵本読み聞かせ ボランティア 「ジーバー ぼこぼこ」 (長浜市)</p>	<p>【活動目的】 高齢者の脳の老化予防、生きがい活動を通じた閉じこもり予防（介護予防）を実施。子どもの活字・文字離れの予防だけでなく、「こころの栄養を届ける」ことを大切にしている。 また、世代間交流を通して、子ども達が高齢者に対する念を育むことができる。 学校と連携した活動（地域貢献） ■何度も受ける読み聞かせの中で、子どもの心に何か一つでも良い印象が残ればと思い活動を継続している（こころを豊かにするきっかけづくり）</p> <p>【設立経緯】 市として高齢期の身体活動、運動、こころ、認知症対策の取組を検討していたところ、東京都健康長寿医療センター研究所から「世代間交流による高齢者の社会貢献に関する研究」（りぷりんと）の提案があったことが、活動のきっかけとなり、平成16年（2004年）に高齢者の元気づくり学校ボランティア事業を立ち上げ活動を開始。平成23年度（2011年）に組織体制、会則、新規会員の養成、主体的な運用方法などについて協議し、平成24年度（2012年）よりジーバーぼこぼこ長浜協議会を立ち上げ、自主活動組織として現在まで活動している（小学校区ごとにグループを設けて活動）。現在、市北部の小学校でも順次絵本の読み聞かせ活動が拡大できるよう、組織体制を見直している。</p> <p>【活動内容、効果】 絵本の読み聞かせ活動によるボランティア自身の介護予防だけではなく、学校との連携により多岐にわたる活動を実践し、世代間交流、地域貢献ができています。 ①小学校：1～5回/月 ②幼稚園：1～2回/月 ③保育園：毎週1回は活動 ④放課後児童クラブ：1～4回 ⑤介護サービス事業所（デイサービス）での活動：月2回 ⑥学校読書会：1～2回/年（学校側が時間を確保） ⑦養護学校：1回/月 ⑧学校の授業参画（家庭科・社会科授業の手伝い）：3～4回/年 ⑨朝の挨拶運動：1～4回/月 ※小学校区ごとにグループを組織しており、地域の実情に合わせて活動している。</p> <p>【年間事業】 年1回総会実施（6月） 新規会員養成講座（7～8月） 会員研修、交流会 各小学校区のグループごとに定例会（読み聞かせに関する計画・勉強会・反省会）実施 定期的に各グループリーダーが集まる役員会を開催し、活動課題や今後の予定などについて協議している。</p>

平成29年度 健康寿命延伸プロジェクト優良事例表彰団体

※賞	※団体・企業名	※活動および取組内容
最優秀賞	<p>地域部門</p> <p>【運動】 特定非営利活動法人アザックとよさと（豊郷町）</p>	<p>【活動目的】 「スポーツで広がるアザックとよさと、つながる地域」を合言葉に地域に根ざした活動を志すと共に、生涯スポーツを通じて地域コミュニティの活性化を図るための事業を展開することで、住民に日常の運動の習慣化を図るとともにその手立てを提供することを目的にスタッフが活動している。</p> <p>【設立経緯】 上記の目的を達成するために平成19年3月に「総合型地域スポーツクラブ アザックとよさと」を設立し、平成21年3月にNPO法人格を取得。また、平成24年4月から豊郷スポーツ公園指定管理者として施設管理を受託。恵まれた公園施設を利用し、運動をする機会の少ない幼児から高齢者までを対象にいろいろな事業を展開をしている。</p> <p>【活動内容、効果】 一番の特徴として、会員相互の自主的な活動によってクラブが運営されていること。また、地域住民も含めた多くのスポーツを愛するクラブの支援者の協力によって全ての事業を展開していることがあげられる。 例えば、成人向け事業の「スポーツふれあい講座」が5種目、子ども向け事業の「元気もりもり教室」などが5種目がある。また、サークル活動として、「テニス」や「卓球」など5つの種目に運動する場を提供している。またスクール活動として「ヨガ教室」や「よさこいスクール」など4つのスクールが活動をしていて特に、毎月県内の各名所・旧跡を巡るウォーキングは人気がある。 その他に、各年齢層をターゲットにしたスポーツ交流イベントを実施している。また、町体育協会や町スポーツ少年団の年間事業も担当している。特に、豊郷町民健康フェスティバルは好評で、今年度町民運動会から数えて50回目を迎え、約1,200名の方の参加を得て開催することができた。さらにアザックとよさとでは、会員の「受益者負担による自主運営」の理念が根づいていて、施設の除草作業や公園整備、イベントへのボランティアなどにも大変積極的である。何よりもクラブの事業を通して、町民が運動する機会を一つでも多く持つことによって、一人ひとりの健康づくり・仲間づくり・絆づくりが広がっているといえる。</p>